

産業廃棄物処理計画書

平成 28年 6月 6日

和歌山県知事 殿



提出者

住所 和歌山市美園町5丁目61番
 氏名 大鉄工業株式会社 和歌山支店
 支店長 宮本 三平
 電話番号 073-432-6436

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

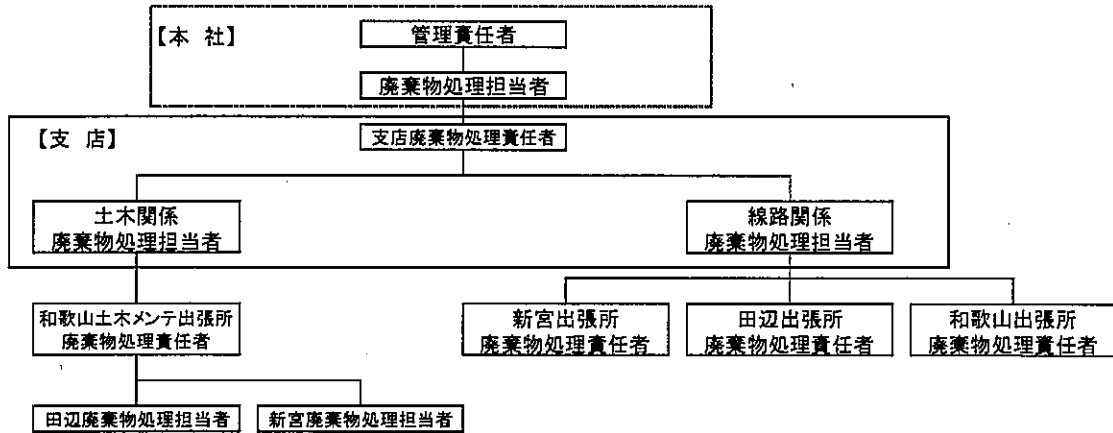
| | |
|---------|----------------------|
| 事業場の名称 | 大鉄工業株式会社 和歌山支店 |
| 事業場の所在地 | 和歌山市美園町5丁目61番地 |
| 計画期間 | 平成28年4月1日～平成29年3月31日 |

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

| | |
|-----------------|--|
| ①事業の種類 | 6. 総合工事業 |
| ②事業の規模 | 元請け完成工事高 30.1億円 |
| ③従業員数 | 75名 (平成28年6月1日現在) |
| ④産業廃棄物の一連の処理の工程 | <pre> graph LR A[現場から排出] --> B[収集運搬業者] A --> C[自社運搬] B --> D[収集運搬] C --> D D --> E[中間処理] E --> F[破碎] E --> G[燃え殻] F --> H[リサイクル] G --> I[最終処分] </pre> |

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

| | | | |
|------|--|--------|---|
| ① 現状 | 【前年度（ 27 年度）実績】 | | |
| | 産業廃棄物の種類 | 別紙のとおり | |
| | 排出量 | t | t |
| | (これまでに実施した取組) 産業廃棄物の発生抑制に向け、施主と施工法について検討して来たが、目標値よりも削減できた廃棄物や逆に増加した廃棄物などがあり、十分な結果に至らなかった。 | | |
| ② 計画 | 【目標】 | | |
| | 産業廃棄物の種類 | 別紙のとおり | |
| | 排出量 | t | t |
| | (今後実施する予定の取組) これまでに実施した取組を継続し、産業廃棄物の抑制に取り組む。 | | |

産業廃棄物の分別に関する事項

| | |
|------|---|
| ① 現状 | (分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 混合廃棄物の発生量の削減に努め、安定型廃棄物と管理型廃棄物に分別して来た。 |
| ② 計画 | (今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) これまでに実施した取組を継続する。 |

| 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項 | | | |
|----------------------|--|--------|---|
| ① 現状 | 【前年度（ 27 年度）実績】 | | |
| | 産業廃棄物の種類 | 別紙のとおり | |
| | 自ら再生利用を行った産業廃棄物の量 | t | t |
| | (これまでに実施した取組) 自ら直接再生使用に向け、コンクリートがら、アスファルトがらについて舗装の路盤材、裏込め土等の活用について施主と検討して来たが、自らの利用に至らず委託処理となった。 | | |
| ②計画 | 【目標】 | | |
| | 産業廃棄物の種類 | 別紙のとおり | |
| | 自ら再生利用を行う産業廃棄物の量 | t | t |
| | (今後実施する予定の取組) これまでの取組みを継続し、自ら再生利用に努める。 | | |
| 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項 | | | |
| ① 現状 | 【前年度（ 27 年度）実績】 | | |
| | 産業廃棄物の種類 | 別紙のとおり | |
| | 自ら熱回収を行った産業廃棄物の量 | t | t |
| | 自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量 | t | t |
| | (これまでに実施した取組) 自ら中間処理は行わない。 | | |
| ②計画 | 【目標】 | | |
| | 産業廃棄物の種類 | 別紙のとおり | |
| | 自ら熱回収を行う産業廃棄物の量 | t | t |
| | 自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量 | t | t |
| | (今後実施する予定の取組) 自ら中間処理は行わない。 | | |

(第4面)

| 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項 | | | |
|------------------------------|--|--------|---|
| ① 現状 | 【前年度（ 27 年度）実績】 | | |
| | 産業廃棄物の種類 | 別紙のとおり | |
| | 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量 | t | t |
| | （これまでに実施した取組） 自ら埋立処分又は海洋投入処分は行わない。 | | |
| ② 計画 | 【目標】 | | |
| | 産業廃棄物の種類 | 別紙のとおり | |
| | 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量 | t | t |
| | （今後実施する予定の取組） 自ら埋立処分又は海洋投入処分は行わない。 | | |
| 産業廃棄物の処理の委託に関する事項 | | | |
| ① 現状 | 【前年度（ 27 年度）実績】 | | |
| | 産業廃棄物の種類 | 別紙のとおり | |
| | 全処理委託量 | t | t |
| | 優良認定処理業者への処理委託量 | t | t |
| | 再生利用業者への処理委託量 | t | t |
| | 認定熱回収業者への処理委託量 | t | t |
| | 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 | t | t |
| | （これまでに実施した取組） 委託基準に従い、産業廃棄物を委託できる業者を選定し、処理を委託する業者の処分方法処分能力が適当か、現地に出向き確認する。 産業廃棄物適正処理チェック表を作成し、適正処理されていることの確認を行う。産業廃棄物の適正処理に向け、環境パトロールを実施する。 優良認定処理業者への委託を積極に行う。 | | |

| | | | |
|--------|--|--------|---|
| ②計画 | 【目標】 | | |
| | 産業廃棄物の種類 | 別紙のとおり | |
| | 全処理委託量 | t | t |
| | 優良認定処理業者への 処理委託量 | t | t |
| | 再生利用業者への 処理委託量 | t | t |
| | 認定熱回収業者への 処理委託量 | t | t |
| | 認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量 | t | t |
| | (今後実施する予定の取組) これまでに実施した取組を継続する。 | | |
| ※事務処理欄 | | | |

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

